

教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子ども

干布小学校だより

4月号 H28.4.23

天童市立干布小学校

校長 柏倉 充

校庭の桜、花壇のチューリップやパンジーがみごとに咲きそろい、新しい学年の始まりにぴったりの雰囲気の中、子どもたちが元気に登校して来ます。校庭の木々や花壇の花々一つ一つが、子どもの気持ちを考え配慮されたものであると、改めて感心しております。干布小学校は、まさに子どもを大事にする素晴らしい教育環境に恵まれた学校です。

創立137周年を迎える歴史と伝統ある干布小学校に、この4月から5名の教職員が新たに赴任いたしました。私は、江川校長先生の後任として、天童市教育委員会から参りました柏倉充と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私たち教職員一同は、保護者の皆様、地区の皆様からもいろいろと教えていただきながら、子どもたちの教育に全力で当たってまいります。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「つなぐ・広げる・考える」を合い言葉に

平成28年度の干布小学校は、児童数138名、教職員15名でスタートしました。4月7日の始業式で、今年度は、特に「つなぐ・広げる・考える」を合い言葉にして、共に伸びていこうと、こんなことを話しました。

始業式での校長の話より

1 「つなげて考える」

これは、「勉強したことを使って考えていく」ということです。勉強したことを使って新しい問題を解いたり、算数で学んだグラフを使って理科の気温の変化をまとめたり、日常生活の中でもどんどん使って、物事を考えることができるようになってほしいのです。

2 「広げて考える」

これは、「社会のいろいろな事に、関心をもつ」ということです。毎日いろいろなニュースがありますが、知らないことやなかなか答えの見つからない難しいこと、つまり大人が考えているようなことにも、興味をもってほしいのです。身の回りのいろいろな出来事を自分事として考えていく。そうして大人に近づいていくのです。

3 「やってみる」

これは、「何でも自分でやってみよう」ということです。失敗は成功のもとと言います。間違ったっていい。失敗したっていいのです。新しいことが次々生まれる世の中です。わからないことやできないことがあっても、少しも恥ずかしいことはありません。

自分でやる。やってみたらわかることが必ずある。その中に自分の成長があり、次の目標も見つかるのです。

「つなげて考える」「広げて考える」「やってみる」この三つのことで、先生方もみなさんとともに成長していきます。実りある一年となるよう、頑張っていきましょう。

職員紹介

校長 柏倉 充

★天童市教育委員会より

教頭 松田 洋

教務主任 深瀬 実

養護助教諭 長岡 京子

★山形市立高楯中学校より

主査 川合恵美子

なかよし 高橋 淳子

1年担任 村形 奈央

2年担任 堀川るり子

3年担任 高橋 聡美

★天童市立山口小学校より

4年担任 今田 裕浩

5年担任 武田 美紀

6年担任 瀬野 淳

技能主査 菖蒲 修

図書整理 船津 知美

★新規採用

給食業務 鎌田 忍

★新規採用

教育目標

心豊かに たくましく伸びていく子ども

めざす子どもの姿

- 自ら考え、学び続ける子ども
- 思いやりをもち、つながりを深める子ども
- 生命を大切にする子ども
- ふるさとを愛する子ども

つなぐ・広げる・考える

経営の重点

重点1 自ら考え、学び続ける子ども

- (1) 校内研究「追究する子ども 追究するクラス」を日常につなぐ (言語活動の充実)
- (2) 教育内容をつなげ、生活に広げるカリキュラムづくり (学びを生かす生活)

考えることをはっきりさせて、見通しをもつ・自分で考える・仲間と考える授業を大事にします。

学んだことが、活用できるように指導計画を工夫します。

1年生の学習と生活をつなぐ支援員(天童市ふるさと大好きプロジェクト)を配置します。

重点2 思いやりをもち、つながりを深める子ども

- (1) アンテナの高い生徒指導 (温かい子ども理解に基づく学級経営 ・いじめの未然防止 ・ねらいと評価が明確な特別活動)
- (2) チームでの特別支援教育 (適切な支援と面談 ・日常の情報交換や教育相談)
- (3) 実感のある道德教育 (人間理解を深める道德の時間)

子どもがいじめられたと言え、いじめと捉えます。これは軽いなどと教師が勝手に決めません。

解決すべき課題を、子どもと教師と保護者との3者で共有し、具体的に取り組んでいきます。

人間の弱さ、自分の弱さと向き合い、考え、議論する道德の授業を実践します。

重点3 生命を大切にする子ども

- (1) 読書活動を広げる (読書単元の工夫, 充実 ・PTA活動とつなぐ)
- (2) 健康教育の充実 (基本的生活習慣形成をカリキュラムとつなぐ)
- (3) 安全教育の充実 (情報モラルの育成 ・判断力育成をめざした避難訓練)

体育的行事を生かし、目標をもって主体的に体力づくりができるようにします。

インターネットの正しい使い方を学び、判断力を養います。

読書は習慣づけたいと思います。親子読書もPTAと協力して進めます。

重点4 ふるさとを愛する子ども

- (1) 保護者との温かいつながり (保護者との信頼関係づくり ・積極的な情報発信)
- (2) 地域との温かいつながり (ねらいを明確にした体験活動 ・教科とのつながりを生かした地域素材の教材化 ・年度当初からの計画)

学年通信には、指導の意図、子どもの育ちを載せていきます。学校へご感想をお寄せください。

各種体験活動は、学習の一環なので、必ず「書く活動(手紙・振り返り等)」を組み込んでいきます。

なお、個人情報の管理徹底を図ります。